

Face to Face

2009.MARCH

あなたとFUJIを見つめるLIVE MAGAZINE

volume 28

[フェイス トウ フェイス]
笑顔でつなぐコミュニケーション

吉徳資料室学芸員
日本人形玩具学会運営委員
日本風俗史学会会員

林 直輝

Naoteru Hayashi

お気に入り SHOP
桜の季節になりました

GOURMET
食事を楽しみましょう

朝日出版
ジュニアエラ
「名将の決断」

Book information
ゆっくり本を読んで
みませんか

Smile3
高田さんの
ご家族を紹介します

Happy present
ゆらぎの里
入浴ペアチケット



皆さんもテレビの「何でも鑑定団」をご覧になったことがあるだろう。スタジオに持ち込まれた「家宝」を専門家が鑑定し値段をつける。所有者は色々な思い入れをもって大事に所蔵してきた「家宝」が専門家により如何に評価されるのか固唾を呑んで見守る。意外なものが高価な鑑定結果を得たり、逆に鳴り物入りで所蔵していた代物が偽物であったり、登場人物の「喜憂する表情を見るのも面白い。また、専門家による古美術をはじめ趣味のコレクションズアイテムに至るまで、実に幅広い解説と蘊蓄(うんちく)を聞くのも楽しい。

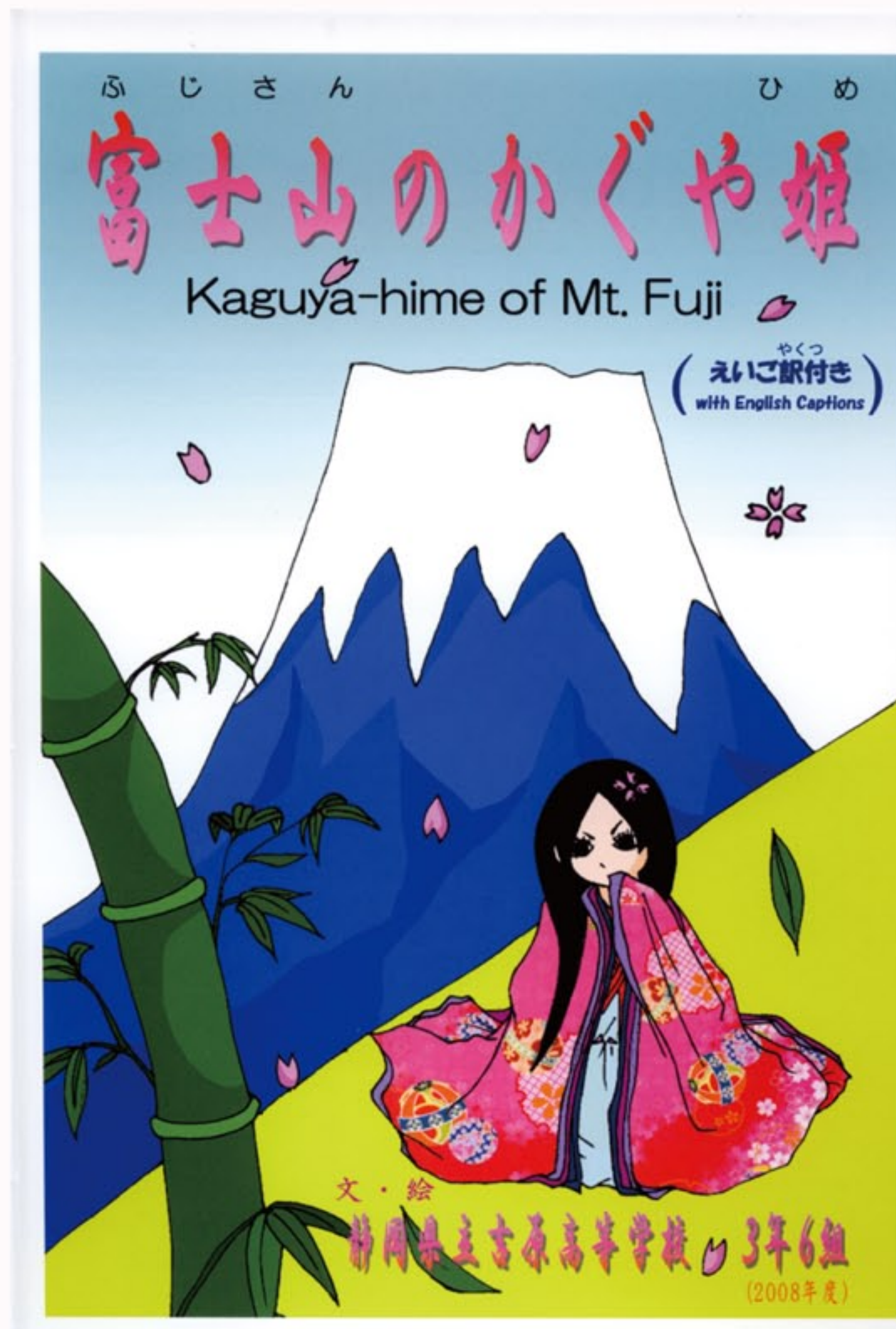
レギュラー鑑定士のキャラクターも多彩で、知らず知らずの内に中島誠之助氏などの解説する古美術の世界に引き込まれてしまう。素人の我々は、一体この人達の知識は何処まで深いのだろうか? 「何処でそんな知識を身に付けたのだろうか?」とただ只驚くばかりである。今回紹介する林直輝さんはそ

だるまが欲しいと泣いて帰らない子でした

林 直輝

林さんは富士市吉原で生まれた。父親が獣医師で動物病院を経営し、母親は薬剤師で薬局を営んでいた(富士市浅間本町にある現・骨董喫茶 健康堂)。曾祖父が骨董品を収集していたこともあり、伝統文化を身近に感じて育った。父母も美術や文化に関心が強く、赤ん坊のころから美術館や博物館に連れていってもらった。「自分自身の記憶がない、物心のつく前から、だるまなど日本の伝統的な物が好きでした。毘沙門天のだるま市には毎年行ったり、吉原ではどこの家にもだるまがありました。親類の家で、だるまが欲しいと、もらえるまで泣いて帰らなかったことも。だるまを抱いて遊んでいる1歳のころの写真もあります。」

んな浮世離れた世界で活躍中の、そしてとてもお若い富士市出身の研究者である。



富士山のかぐや姫

Kaguya-hime of Mt. Fuji

富士山のふもとに古くから伝わる「かぐや姫伝説」。富士市比奈にある「竹採塚(竹採公園)」の周りにはかぐや姫にまつわる伝説が多く残されている。一説によると富士山の神様だったという説もあり、この伝説から『竹取物語』が誕生したとも言われている。

静岡県立吉原高等学校国際科3年6組(2008年度)の生徒は、この「かぐや姫伝説」について掲載されていた「皇国地誌」をもとに現代語訳や英語訳をし、日本国内、さらには全世界に広め、地域に貢献しようとして一冊の絵本にした。

発行に関しては取り組みに賛同した富士山かぐや姫学会と同校創立百周年記念事業実行委員会の後援を得て出版。富士山観光交流ビューローや、戸田書店、江崎書店、岳陽堂書店などで取扱中。かぐや姫学会では富士山の世界遺産への登録支援、子供達の情操教育のため市内の幼稚園、保育園をはじめ公立図書館などに寄贈する計画を進めている。



「富士山のかぐや姫」

富士山観光交流ビューローほか
住所 富士市川成島654-10 (新富士駅・ステーションプラザFUJI内)
TEL 0545-64-3776

戸田書店・江崎書店・岳陽堂書店にて販売中

710 (税込)



林 直輝 はやしなおてる
1979年9月16日 富士市生まれ 29歳
吉徳資料室 学芸員
日本人形玩具学会 運営委員
日本風俗史学会 会員

永徳齋 人形司歴代の技と美

かつて、東京日本橋十軒店に「永徳齋」という人形の名店があった。十軒店とは現在の室町三丁目、三越本店の並びを、ほんの少し神田方面に行ったあたりである。今や往時のおもかげは全くないが、江戸時代から昭和初期まで、通りには人形店が軒を連ね、三月、五月の節句前には大変な賑わいをみせた町である。ここに、明治初期から昭和戦後に至るまで、四代を重ねたのが永徳齋である。

江戸時代の御所および將軍家の御用人形司の流れを引き継いだ永徳齋は、主に皇族や旧公家、大名家、財閥家等の愛顧を受けたが、そうした需要は自ずと贅を尽くし技巧を凝らした高級品を生み出した。費用にこだわらずひたすら優れたものを求める彼ら上流階級の存在は、あらゆる美術工芸の分野を支える大きな力であった。しかし、それを反証するように戦後、経済的背景を失った永徳齋は閉店を余儀なくされてしまったのである。庶民にとつてはまさに高嶺の花、馴染みの薄いこの店は時の流れとともに忘れ去られていった。ところが近年、全国各地の博物館や美術館、あるいは自治体等で雛人形展が盛んに開催されるようになると、そこに展示される永徳齋の作品が注目され、時には町の文化財に指定される例まであらわれる。さらにちよとした昨今の人形ブームも手伝って、徐々にではあるが永徳齋の存在は再び脚光を浴びてきている。

『人形美』とは情緒の美であり、人間のこころの『美の具現化』でありましよう

「日本人形は技法的にも感覚的にも様々な伝統的美術・工芸の集大成といえます。彫刻、絵画、染織、漆芸、金工、陶芸など、それぞれの特長が随所に

富士市は、製紙業に代表される産業の町だが、竹取物語の発祥地といわれるように伝統文化が息づく土地でもある。日本3大だるま市の一つに数えられる毘沙門天や、かつて東海道の宿場町でにぎわった吉原。こうした土地柄が、新進の優れた日本の伝統的な人形・玩具類の研究者を産んだ。

林さんは、東京・浅草橋で江戸時代中期に創業した東京で最も古い人形問屋の吉徳の資料室に勤務し、保存資料の整理や研究、企画展の開催などを行っている。毎年、節句のころには、各地の講演会の講師に招かれて多忙になる。2月7日にも、静岡市のアイセル 葵生涯学習センターで開催された講演会で『上巳の節句と雛人形』と題して講演した。

で、江戸時代から続く、赤ペコを唯一、作りしてきた店が最近、廃業しました。何とか守れなかったのか。」と惜しむ。

高校では美術部の部長をした。大学進学に際して、人形や玩具を自分が楽しむだけでなく、その魅力を多くのの人に伝えたい。博物館や美術館には専門の学芸員がいる。それで学芸員の資格を取ろうと考えた。

学芸員になるには、普通は大学の文学部で史学や美術史、民俗学などを学ぶ。人形や玩具の研究はこうした狭い枠組みに収まらない。より幅広い視野でとらえる必要がある。林さんは、日本文化を幅広く学ぶために地域文化学科が設置されていて、学芸員の資格が取れる目白大学を選んだ。キャンパスが、当時、日本有数の人形の町である埼玉県岩槻市(現・さいたま市)にあることも魅力だった。日本では、人形や玩具を専門に展示している施設は少なく、研究者も数少ない。まだまだ調査研究のすすんでいない分野だけに面白いです。

生かされた人形は、独自の芸術的価値を持つ、まことに面白い存在です。その人形が他の芸術に比して優れている点を挙げれば、個別には、平面である絵画に比して立体であること、また彫刻に比して色彩に富んでいることが挙げられます。しかし総合的にいえば、人間の姿を写しているがゆえに、人間の情感をより率直に、より親密に表現できるという点ではないでしょうか。」

ほとんどの日本人は、雛人形や武者人形を見たことがあるだろう。しかし、その歴史や様々な様式についてはあまり知らない。林さんは、分かりやすく説明したうえで、『人形美』とは情緒の美であり、人間のこころの『美の具現化』であると述べている。

昨年、江戸時代の御所や將軍家の御用人形司の流れを引き継ぐ人形師『永徳齋』について研究し、その歴代作品展を東京で開催した。(下に永徳齋歴代の技と美をご紹介します。)

「かつては、人形や玩具は女、子どものものでたいそうなものではないと思われていました。ひな祭りに代表されるように、誰しも人形と身近に接していたので、大げさに展示したり、文化的にどうのとは考えなかったのです。ところが近年、全国の市町村で町おこしのために、古い人形を集めて雛人形展などが盛んに開かれるようになり、大勢の女性客が訪れ、日本の伝統美が見直されています。私は「温故知新」という言葉が好きですが、『新』は『真』ともいえるでしょう。古きをたずねるのは真実を知り、あるべき姿を知ることにつながる。長い間に多くの人を経た物事は、洗練されつくしています。調べると、先人たちの残してきた素晴らしさを自覚するのです。」

気鋭の研究者は、礼儀正しく謙虚な人柄だった。

写真協力 美影館

二代

Eitokusai II



鍾馗 高70cm
魔よけの神として五月飾りでおなじみの鍾馗も、個性的に仕上げられている。



初代

Eitokusai I



象牙雛 台幅12cm 頭部と手を象牙で作った、きわめて小さく精緻な雛人形である。



神武天皇 高70cm (表紙写真)
本朝第一代の天皇である神武天皇の御姿を表したもので、頭部と手は木彫の木地仕上げとした一品作である。頭髪と髭には人毛が用いられている。両手の弓と矢を欠くが、独特の気品を有し、圧倒的な実在感を以て見る者に迫る優品である。



若大将と従者 高73cm



内裏雛と隨身



小楠公

三代

Eitokusai III

馬乗小楠公

